

「事業名：福島県浪江町における農業“新興”に向けた取り組み」 ～ 2019年度事業の概要について～

東京農業大学 連携市町村：福島県浪江町

現地拠点：福島県双葉郡浪江町幾世橋六反田7-2 浪江町役場庁舎3階農林水産課内

事業のポイント

■ 浪江町の農業復興のボトルネックとなっている“ソフト面”を支援するため、東京農業大学の“復興知”を結集し、学生を中心とした取り組みを展開する。

① 就農拡大への取組 ② 6次産業化推進の取組み ③ スマート農業推進の取組み

これらの取組みを通じ、“復興”から一歩進んだ挑戦を含む農業の“新興”を目指す。

■ 浪江町の農業再生の課題(担い手不足など)は、正しく日本の遠くない未来の農業課題に等しい。これらの取組みを通じ、日本の農業課題解決の提言を行う。

■ 実業として復興に取組む(株)舞台ファームとも連携し、「産官学一体」となって、未曾有の災害に対する、農業再生のソリューションの提案を実施していく。

<浪江町の農業復興への支援>

<ハード面(インフラ)>

- 農地、水系復旧
- 農機具の整備
- 乾燥調製設備
- 倉庫・物流・検査拠点
- その他

<ソフト面>

- 農業者復帰支援
- 担い手育成支援
(新規就農者育成)
- 販路の開拓
- 新規作物の検討
- その他



どちらが大切か → ソフト面が重要!

浪江町プロジェクトとしては、東京農大の英知を結集し、ソフト面を強化・支援する形で進めていく

※ハードとソフトのバランスのとれた農業復興が大切である。

2019年度の活動内容

① 就農拡大への取組み

- ・地元農業者と学生との交流を通じた、就農に関する各種提案・提言
- ・学生による農業支援活動(耕作補助)
- ・浪江町におけるゼミの開催
- ・社会人の新規就農支援活動
- ・地元農業者に関する各種調査
- ・浪江町の農業復興計画への提言等

② 6次産業化推進への取組み

- ・新たな作物などの提案・営農指導
- ・既存地元産品の6次化支援プログラム
- ・景観作物の検討・検証

③ スマート農業推進の取組み

- ・ドローンによるスマート農業支援など
- その他、定期シンポジウムの開催や食育プログラムの立案・検討など



取り組みによって得られる成果

- ・就農施策の提言および帰還農業者・新規就農者の増加、新作物・新商品開発による6次産業化・スマート農業推進